

トロッコ道

ハイキングマップ

上古沢駅～下古沢駅～高野下駅～九度山駅

明治時代後半から、当時の国有林では初めてとなる森林鉄道が、高野山までの約28kmに渡って、木材搬出のために運営されていました。昭和34年に廃止され、現在は遊歩道や生活道路となりハイキングを楽しめる道となっています。



およそ：トータル 7.6km 2時間18分

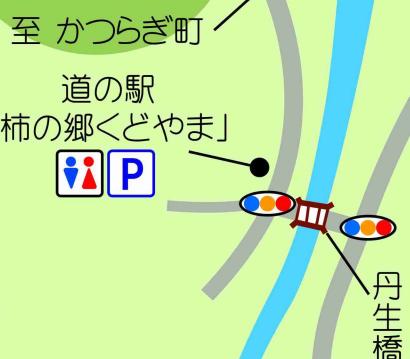
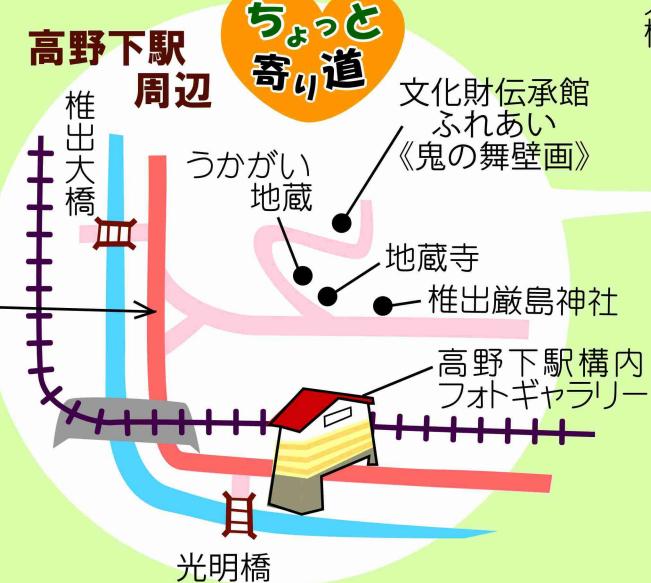
上古沢駅 2.0km 36分 下古沢駅 2.7km 50分 高野下駅 2.5km 45分 役場下 0.4km 7分 九度山駅



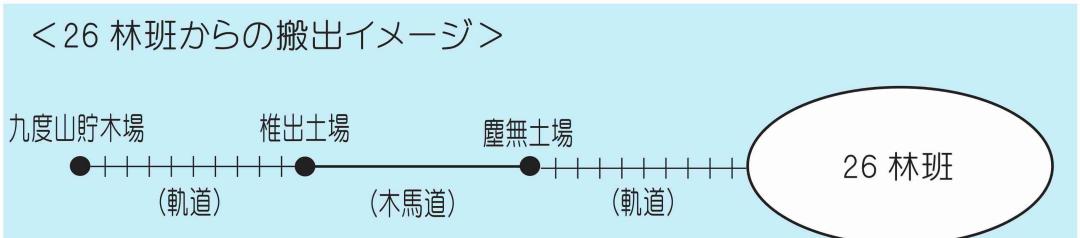
白色の道が
ハイキング道
落石注意！



九度山町には
他にもハイキング
コースや、四季折々の
見どころやイベントが
あるよ！
いつでもお越し
くださいね…



高野山森林鉄道（トロッコ道）の歴史

- 明治 19年 (1886) 和歌山大林区署高野小林区署が置かれる。
ふくろじり ^{※1}
- 明治 21年 (1888) 墾 ^{きん} 丸太を運ぶため九度山の袋尻土場から椎出土場まで木馬道が整備される。
きんまみち ^{※2}
後に、矢立（高野町）まで延長される。
- 明治 37年 (1904) 高野山国有林の経営案が編成され、本格的な国有林経営が開始される。
- 明治 38年 (1905) 農商務省山林局として日本初の軌道が開通する。
軌道：袋尻土場—椎出土場（現国道沿い）(3.341km)
木馬道：椎出土場—長坂—神谷土場—塵無土場 (11.193km) ^{※3}
- 明治 39年 (1906) 土場と軌道路線が変更される。⇒ [\[フォトギャラリー「竜王渓」写真参照\]](#)
- 土場：袋尻から入郷（九度山貯木場）
路線：丹生川右岸から左岸へ 九度山貯木場—椎出土場 (3.476km)
- 明治 41年 (1908) 高野山林道幹線が完成する。延長 18.389km。
- <26林班からの搬出イメージ>
- 
- 九度山貯木場 椎出土場 嘉瀬土場
(軌道) (木馬道) (軌道)
- 26 林班
- 大正 2年 (1913) 高野山林道幹線の全線軌道化が完了する。延長 23.029km。
※九度山貯木場—椎出—細川出合—神谷インクライン—神谷土場—塵無土場—26林班 ^{※4}
- 大正 7年 (1918) 墾 鉄道延長が 28.434kmとなる。【最長】
- 昭和 3年 (1928) 内燃機関車が導入される。これ以前は人・牛の力で運行していた。
- 昭和 7年 (1932) 幹線 & 支線の総延長が 44.989kmとなる。【最長】
べつしょだに
※別所谷線は大正7年、花坂線は昭和7年、その他支線は、ほぼ戦時に建設される。
- 昭和 29年 (1954) 高野山有料道路の建設が開始される。
- 高野山で軌道の撤去がはじまる。
- 昭和 34年 (1959) 高野山有料道路一部線（下古沢～細川）開通と同時に、軌道が全廃される。
高野索道も営業を終了し、明治を代表する2大輸送機関からトラックの時代へ。

※1 土場・・・木材や土木資材の集積場

※2 木馬道・・・切り出した木材をそりで運ぶ木材班出路

※3 軌道・・・「列車が通る道」の構造物（レール、レール締結装置、枕木、道床等）

※4 インクライン・・・斜面にレールを敷き、動力で台車を動かして船・貨物を運ぶ装置

参考文献
資料等

localwiki 九度山
高野山森林鉄道開発史

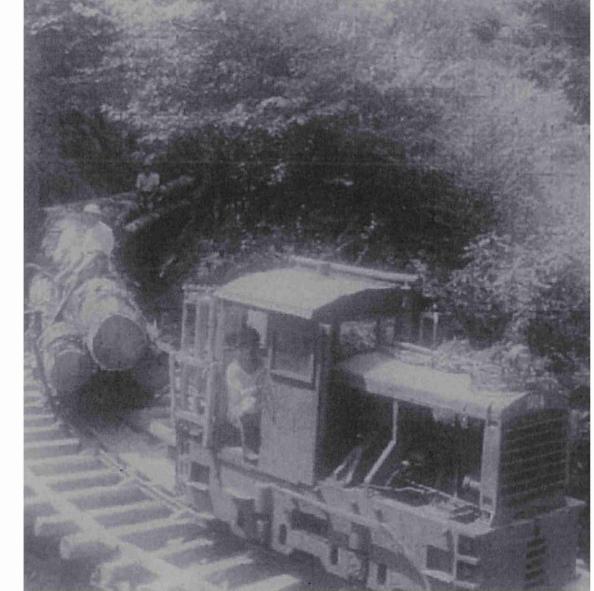
写真提供

・和歌山森林管理署 高野森林事務所
・高野営林署 OB会

高野山森林鉄道 フォトギャラリー



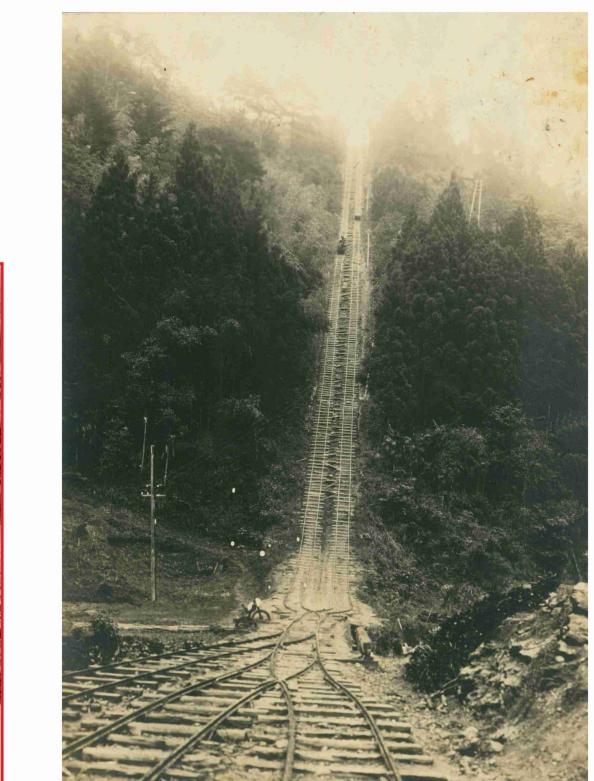
運搬風景①



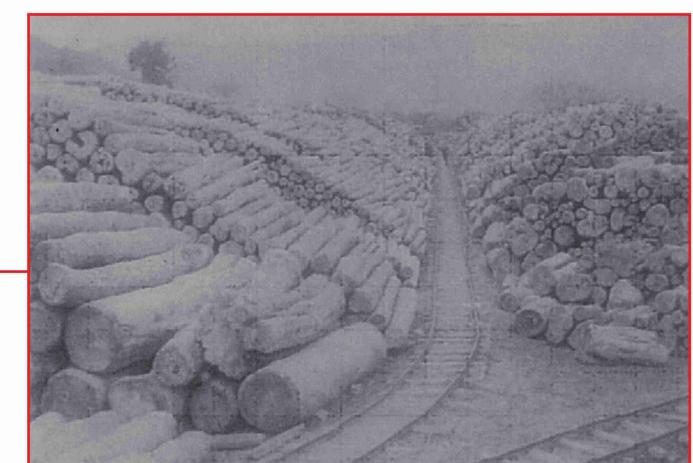
運搬風景②



竜王渓（昭和28年）



神谷インクライン（大正2年完成）



九度山貯木場（昭和初期）
現在の道の駅「柿の郷くどやま」